



中国における 化学物質管理政策の最新動向

中国生態環境部
土壤環境管理司 化学品環境管理处
2018年6月23日



1

第13次5カ年計画期間の概要と主要なタスク

2

2017年の主な進捗

3

2018年の計画



1. 概念

環境品質の向上を柱とした、化学物質の環境リスクおよび健康リスクを管理することを目標に、特定・評価・管理の手法を活用し、この目標を改革と革新によって牽引し、体系的で科学的かつ法的で厳密な情報管理要件を満たし、トップデザインの実施、管理システムの改善、基本的サポートの強化、限定的な達成目標の設定を実施し、化学物質環境管理における新たな進展を遂げる。



第13次5カ年計画期間の概要と主要なタスク

法規制の制度を基本的に構築する

国際条約で対象とする
化学物質のリスクの管理を行う

**2020年
までの
達成目標**

化学物質の有害性の特性に
関するデータベースを
基本的に完成させる

有毒・有害汚染物質の防止
および管理の促進

有害性の特定とリスク評価に
対する能力の基盤を確立する



主要なタスク

一つの戦略

One strategy

二つの法制化

Two regulations

三つの基本ブロック

Three basic blocks

四つのミッション

Four missions

六つのメカニズム

Six mechanisms



1. 一つの戦略

- ✓ 化学物質環境管理に対する国家戦略に関する研究の実施、
国家化学物質環境管理の基本指針、原則、方針および全体
戦略達成目標の明確化
- ✓ 化学物質リスク管理の枠組の構築
- ✓ 中長期的な化学物質リスク評価およびリスク管理行動計画、
ならびに化学物質環境管理能力強化プログラムの提案



2. 化学物質環境管理に関する2つの法制化

- ✓ 土壌汚染防止法へ化学物質環境管理を反映するための積極的な取り組み
- ✓ 特定化学物質の環境管理規制の強化

3. 三つの基本ブロック

- ✓ 化学物質の環境リスクおよび健康リスクに対する評価技術システムの構築。
- ✓ 化学物質の有害性特性の基本データベース。
- ✓ 専門チームの構築。



4. 四つのミッション

- ✓ 化学物質リスク評価
- ✓ 高リスク化学物質の規制と排除
- ✓ 毒性・有害汚染物質の防止および管理の促進
- ✓ 協力とコミュニケーションの強化



5. 六つのメカニズム

- ✓ 新規化学物質登録制度改革
- ✓ 有害化学物質登録制度の見直し
- ✓ 化学物質の製造と使用に関する定期調査システムの構築
- ✓ 化学物質有害性特定システムの完成
- ✓ 化学物質環境リスク評価システムの改善
- ✓ 主要環境管理有害化学物質の環境への放出に関する情報報告システムの改善



1 既存化学物質の環境管理

2 新規化学物質の環境管理



1. 中国で厳しく制限される毒性化学物質リストの公表(2018) (2017年旧環境保護部公告第74号)

POPs条約

- リンデン
- ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) およびその塩、ならびにペルフルオロオクタンスルホンフルオリド (PFOS-F)
- ヘキサブロモシクロドデカン

PIC条約

- テトラメチル鉛
- テトラエチル鉛
- SCCP
- PCT
- トリブチルすず化合物
- ペルフルオロオクタンスルホン酸
ペルフルオロオクタンスルホン酸塩
ペルフルオロオクタンスルホンアミド および
ペルフルオロオクタンスルホニル

水俣条約

- 水銀



目標:

毒性化学物質の管理の強化

基準:

- 有害化学物質の安全性管理に関する規制
- POPs条約
- 水俣条約
- PIC条約

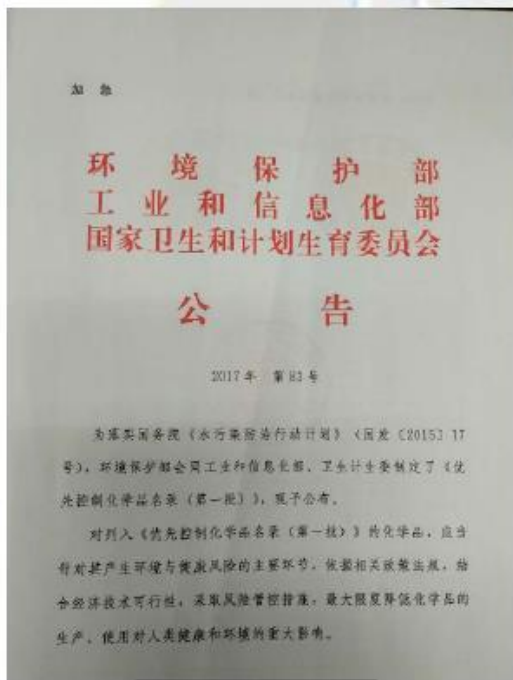


要求事項:

- リストに含まれる毒性化学物質の輸出入を行う際に、事前に中国生態環境部に毒性化学物質の輸出入に関する環境管理の認可申請を提出しなければならない。
- 輸出入業者は、通関手続きの際に税関に認可申請書を提示しなければならない。



2. 優先管理化学物質 リストの公表 (第1弾) (2017年旧環境保護部 公告第83号)



化学物質	化学物質
1,2,4-トリクロロベンゼン	ヘキサブロモシクロドデカン
1,3-ブタジエン	ナフタレン
ムスクキシレン	鉛化合物
N,N'-ジトリル-パラフェニレンジアミン	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) およびその塩ならびにペルフルオロオクタンスルホンフルオリド (PFOS-F)
短鎖塩素化パラフィン	ノニルフェノールおよびノニルフェノキシポリ (エチレンオキシ) エタノール
ジクロロメタン	トリクロロメタン
カドミウムおよびカドミウム化合物	トリクロロエチレン
水銀および水銀化合物	ヒ素およびヒ素化合物
ホルムアルデヒド	デカブロモジフェニルエーテル
六価クロム化合物	テトラクロロエチレン ¹⁴
ヘキサクロロシクロペタジエン	アセトアルデヒド

リストの基盤



既存化学物質の
環境リスクおよび
健康リスクに
関する評価

2017年末に
優先管理化学物質
リストを公表

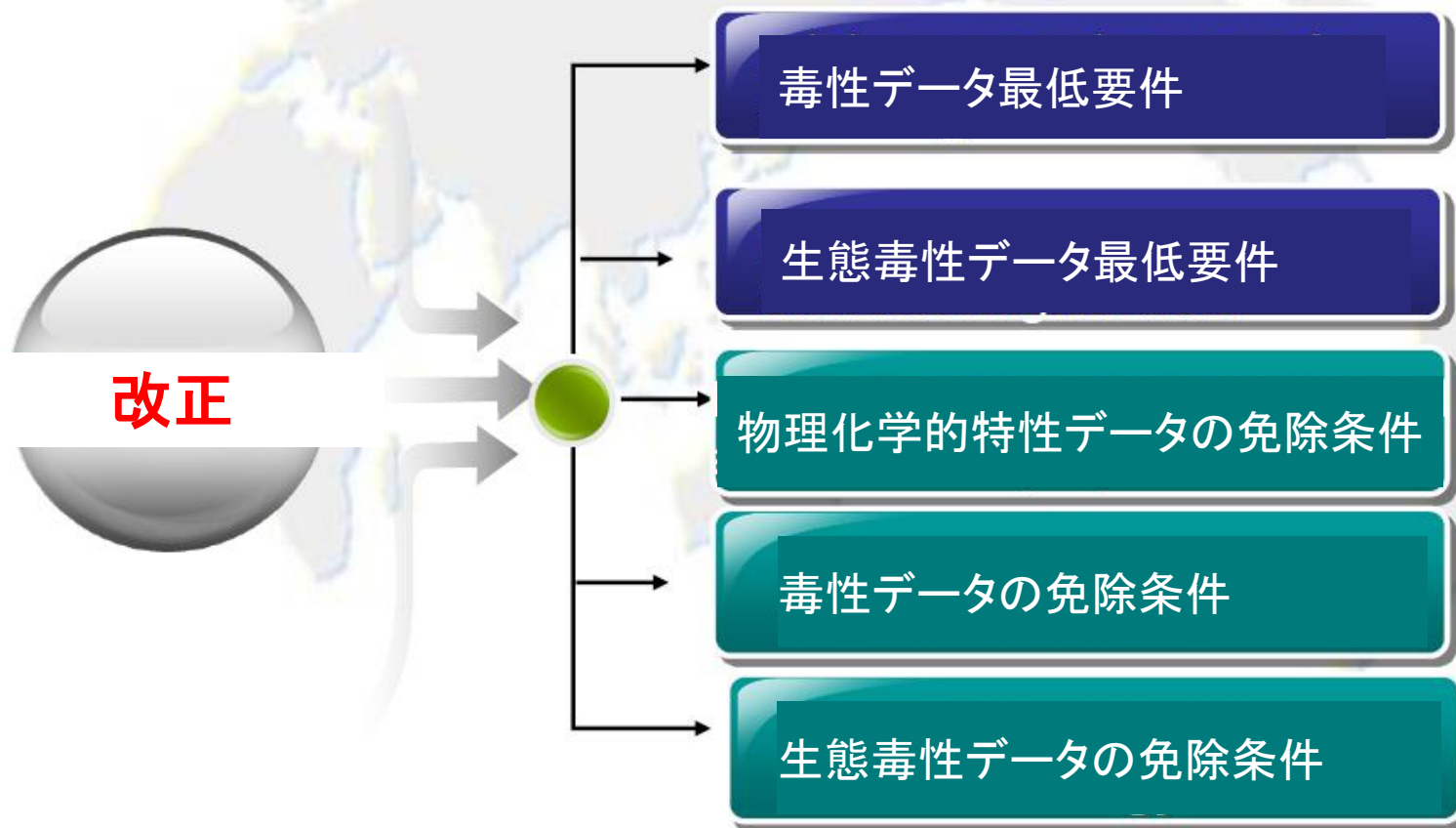
以下の化学物質を重視

- 固有の高い危険有害特性を有する
- 環境中に長期間存在する可能性がある
- 環境および人の健康により大きなリスクとなる可能性がある

対策

- 汚染物質排出許可制度への組み込み
- 制限措置
- クリーンな生産の監査ならびに情報公開制度の実施

1. 新規化学物質登録ガイダンスにおけるデータ要件改正 の公表(2017年旧環境保護部公告第42号)





基本的な考え方

1. 管理の合理化ならびに下位レベルへの権限の委譲、事業者の負荷の低減
2. 要求データの簡易化、管理慣行への順応
3. 科学性、標準化の促進



改善事項

1. 定量的なデータの除外条件や項目の見直し
2. 専門用語の改善
3. 関連する技術の内容の改善



2. 新規化学物質登録の環境管理のための生態毒性データの現地 検証の指針に関する公告 (2017年旧環境保護部公告第70号)

目標: 新規化学物質の環境管理登録における生態毒性試験データの現地
検証の標準化

主な内容: 検証機関および要員、検証対象と内容、結果の処理などに関する
要件の明確化

進捗: 最初の現地検証が2017年末に行われた。



検証目的

原則として、新規化学物質の環境管理登録に含まれる生態毒性試験データの施設内検証を実行するために、無作為抽出法を採用する。

1. 試験データとともに提出される報告書の数が多く、対応できる人材の数や試験機関の実験室の広さに適合していない。
2. 机上での審査時に多くの疑わしい報告書がある。
3. 事前の無作為抽出時に多くの疑わしい報告書がある。



検証内容

試験データの記録簿に注目する。これにより、優良試験所基準に従っているかどうかについても確認ができる。

検証結果の処理

- 重大な問題が含まれている場合、これに含まれる試験報告が承認されてはならない。
- 検証の状況と結果は、SCC（固形廃棄物管理技術センター）のウェブサイトで公表される。



- 化学物質の環境および健康リスク評価に関する指針枠組を発行
- 化学物質環境管理戦略を策定
- 優先管理化学物質に対するリスク管理対策の実施を促進
- 化学物質環境管理分野における法令および重要な規制の見直しを促進



ありがとうございました